

《学校だより》 ～「朝食・家庭学習・読書」の習慣を育てましょう～



さくら

桜小HP



令和5年度
3月22日
第13号
小樽市立桜小学校

《重点教育目標》おだやかさを土台とした、ひとりだちする子の育成～自律の力を育む～

巣 立 ち

学校長 水口 正紀

卒業の春を迎えました。最高学年として、全校をリードしてくれた卒業生39名。どの子も大きく自分自身を成長させたと思います。1年生の頃に比べると、体がぐんと大きくなりました。そして、それ以上に心がしっかりしたことと思います。日々の成長は、目に見える程は変わらなかったかもしれません。しかし、一学年一学年を終え、新しい学年になるたびにぐんと成長してきたことでしょう。毎日しっかりと学んだ授業・登校日数は、1200余日。小学校最後の学習となった卒業式を終え、たくさんの思い出と共に、小学校を立派に巣立っていきました。

さて、卒業式の式辞の中で卒業生へ贈った、「一秒の言葉」（小泉吉宏氏 作）という詩を紹介します。

『一秒の言葉』

「はじめまして」	この一秒ほどの短い言葉に	一生のときめきを感じることもある
「ありがとう」	この一秒ほどの短い言葉に	人のやさしさを知ることがある
「がんばって」	この一秒ほどの短い言葉で	勇気がよみがえってくることもある
「おめでとう」	この一秒ほどの短い言葉で	幸せにあふれることがある
「ごめんなさい」	この一秒ほどの短い言葉に	人の弱さを見ることもある
「さようなら」	この一秒ほどの短い言葉が	一生のわかれになるときがある
一秒に喜び	一秒に泣く	一生懸命
一秒		

大人の階段への一步を踏み出した子どもたちは、これから、たくさんの友達や先生、先輩と出会います。楽しい中学校生活を送って欲しいという願いを込め、誰に対しても「心のこもった一秒の言葉」を忘れずに過ごして欲しいと伝えました。これは、多感な時期を迎える卒業生に贈った言葉ですが、私たち大人も大切にしていきたいものですね。

1～5年生は、今日、3月22日（金）が、令和5年度の修了式です。長かった1年間の取組を終え、子どもたちは大きく成長しました。この1年間の子供たち一人一人の精一杯の努力に、大きな拍手をおくります。各家庭でも、担任の先生からもらう「あゆみ」をもとに、色々な話がされるとと思います。日々の生活の中ではなかなか気づかなかったことも、この1年間という期間で考えると、大きく成長した部分がたくさん見つかると思います。継続してがんばってきたこと、着実に目標を達成してきたことなどを十分に認め、うんとうんと褒めてあげてください。

卒業式、修了式は一つの大切な節目の日と言えます。ゴールは新たなスタートの日でもあります。4月から始まる新学年を迎えるにあたり、この1年を振り返り、一人一人がしっかりとした目標を立てて、進級してほしいと思います。

終わりになりますが、保護者・地域の皆様にはこの1年間ご支援をいただきありがとうございました。子どもたちの健やかな成長には、学校と家庭との協働が何より大切です。

令和6年度は、より一層皆様方との絆を深めながら、子どもたちのために全力を尽くして参ります。引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

乗り入れ授業

8日（金）に桜町中学校の先生が来てくださり、6年生の音楽の授業を行いました。毎年、小学校と中学校との円滑な接続の取組の一環として行っています。授業は、クロームブックを使って「きらきら星変奏曲」を自分なりにアレンジする授業でした。授業の後には中学校に上がる前の心構えを教えてくださいました。緊張の中にも真剣で前向きに学習する6年生の姿はとても頼もしかったです。



卒業式「Continue to Shine」 ～希望の大空へ 仲間とともに 羽ばたこう～

19日（火）に第77回桜小学校卒業式を挙行了しました。今年度は、保護者、来賓の皆様、在校生全員と教職員が会場で参加しました。卒業生39名全員が校長先生から一人ひとり、しっかりとした態度で卒業証書をもらいました。また、在校生からのお祝いの言葉、卒業生からの6年間の思い出と感謝の言葉もあり、とても感動的な卒業式となりました。



大変お世話になりました

本日（22日）の離任式において、この3月でこの学校を去ることになった5名の教職員の発表がありました。新天地でも子どもたちのために力を発揮してくれることを願っています。

水口 正紀	校 長
渡辺 倫子	教 諭
阿部 敦子	教 諭
蔵谷 千晶	教 諭
荒井 真由	学校図書館司書

退職
小樽市立高島小学校
小樽市立高島小学校
退職
小樽市立望洋台中学校



明日から春休み

- 新2～6年生は、**4月8日（月）**が次回登校日です。通常通りの登校時刻でB日課給食なしの4時間となります。
- 例年、春休み中に携帯電話を持つ児童が増えてきます。インターネット（SNS）は便利な分危険性も含んでいます。先月配付いたしました携帯等の約束「スマート7」をもとに、ご家庭でもルールをつくり、危険から未然に防ぐことができるようお願いいたします。裏面には、インターネット（SNS）の使い方についてのリーフレットを掲載していますのでご参照ください。